



伏見稲荷大社



～伏見稲荷大社～

▲修復された楼門

奈良時代の和銅四年（711年）の二月初午の日に、稲荷大神様が稲荷山にお鎮まりになったことに始まる。昨年、稲荷大神御鎮座 1300年を迎えられ、修復された御本殿や各社殿も色鮮やかに、五穀豊穰・商売繁昌・家内安全の神として、全国の人々から厚く信仰されています。



伏見稲荷大社に信仰が厚い社長は毎月おいなりにんに!



毎月、1日の朝7:00

私は「おいなりにさん」におります。

そう伏見稲荷大社月参りの日です。朝一番に本殿を参拝し「奥社」を通って「四ツ辻」から「荒神峰」まで、途中お参りしながらの往復約50分の道程です。もともと先代が稲荷様に入りさせていただくようになってから、1日にはお参りするようになったもので、それを受け継いでいます。と言っても「仕方なく」ではなく、いつの頃からか信仰心から参拝していますが、正直なところ「もし途中でやめて何かあったら…」と言う不安もあるので。

寒い日や暑い日はつらいですが、四ツ辻まで上がると景色も良く、晴れやかな気分になるので元気が出ます。これからの季節は青葉も鮮やかですし足腰の為にもゆっくり登れば良い運動になるので、ぜひ機会があれば登って見られては。

卍 稲荷祭 卍

伏見稲荷大社のお祭、稲荷祭。中でも神幸祭と還幸祭は御出で・御帰りの祭として知られています。現在では、神幸祭は4月下旬の日曜日（今年には22日）、還幸祭は5月3日となっています。



● 神幸祭

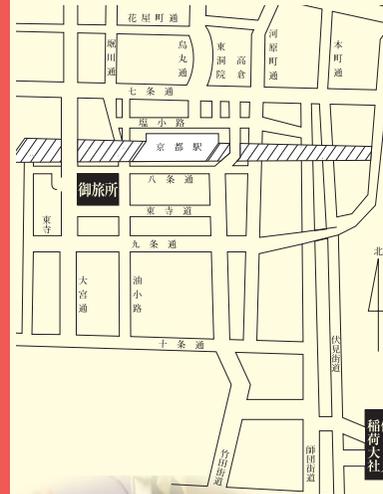
五基の神輿が御本社裏参道より西へ出て竹田街道を七条通まで北上します。そして、大宮通りを南下し東寺を右目にしながら東寺道を東へ。御旅所南門より入り座されます。その後、還幸祭当日までこの御旅所にて氏子たちの参詣を受けられます。



● 還幸祭

5月3日よいよ神輿は本社へと還られます。座をかまえた御旅所南門より南に十条通まで出たのち西に、そして大宮通を北上し五条、松原通を経たあと地域の氏子たちの厚い信仰を受けながら竹田街道を南下し御本社表参道より本殿へと還られます。

▲昔は御輿を人力で担いだそうですが、現在はトラックを利用しています。実に雅やかです。



▲「オー」という神職の声（警蹕【けいひつ】）と共に、ご神体を入れた木箱が素早く覆いの中に隠されてご神殿に入っていく。警蹕【けいひつ】とは、そもそも神さまがお出になるときに膳を供える時に声を発して先を払う（前のものを取り除き清める）ことであり、神が降り立ったことを示す合図といわれています。



荒川印刷株式会社

京都市上京区榎木町通堀川東入 〒602-8036
TEL(075)231-0889 FAX(075)211-5883

あらかわくりっぷ 第2号 2012年6月5日 発行



京四季庵製

印刷のみにとどまらない
提案をさせていただきます

流し灯籠

ご先祖さまの魂を弔う灯籠流し。

弊社はこれまでも有限会社京四季庵様と共に、
華・藤・藍の三種類の灯籠を作ってまいりましたが、回収
作業に大変手間がかかることからご要望をいただき、
この度、新たに水溶性の灯籠を開発いたしました。

組み立ては
簡単

環境に
やさしい



【藍】

【華】

4色展開

裏面



【水溶性とうろう】

【藤】

完成までの道のり

川で実験スタート!



全体が崩れて来た!



灯籠の強度とアタマのやわらかさ

灯籠の強度や溶ける時間の調節のため、形自体
の工夫やパーツの追加などアタマをやわらかくし
て、いろんなアイデアを出すのに苦労しました。



24時間後はほとんど
溶けてなくなっている!
実験成功!!

“なんでやねん”の繰り返しが生きた
アイデアを生む。

共に開発に携わった京四季庵様とは夜の
川に試作品を流しに何度も足を運びま
したが、次の日に溶けきらずに残った
灯籠を回収するたび“なんで残って
んねん”の繰り返し。その繰り返し
から徐々に徐々に完成形へと近づ
いていきました。商品開発は“な
んでやねん”の繰り返し、めげな
い気持ちというんな人との
協力以外“成功への道”は
ない!!

溶けすぎず…溶けなさすぎず!?

水溶紙は本来数秒で溶けてしまいます。それを、
ロウソクが灯されている30分間溶けないように
水溶紙の厚みや加工を施し、水溶紙が溶ける時
間を調整するのに苦労し
ました。当初は溶けす
ぎた水溶紙が加工後
は逆に溶けなくなっ
たり、微妙な調整を
しながらより良い時間
にするため何度も何
度も実験を重ねました。



しばらくすると
少し溶けてきた。



さらに溶ける

ワンポイントビジネスマナー♪



- あ……………明るく
- い……………いつでも
- さ……………先に
- つ……………続けて

『あいさつ』は相手との距離を縮めてくれる、
最も簡単な方法です。
明るく、正しく!気持ちのよい挨拶を心がけましょう。

社員のオススメ情報 & 社員紹介



誕生日……11月19日
 干支……丑年
 在住……京都市
 趣味……競馬、ジョギング
 好きな言葉……怠けろというわけではない、楽をする工夫をしろ

「脳」を鍛えましょう!

「脳トレ」がちょっとしたブームになっています。手近な方法としては
指先の運動。これは長い話を覚えなければならない落語家さんが
やっておられます。また、若い人はあまり馴染みがないかもしれませ
んが、「あやとり」も100種類くらいの形があるそうで指先の運動に
はかなり良いそうです。私は、新聞のクイズ「クロスパズル」「数独」を
毎週日曜日の朝にやっています。分からない時は辞書で調べて答え
を探します。ページを捲るので指先には結構刺激になって良いそう
です。また、探していた答えが見つかった時の気持ちは何とも言えま
せん。そして答えが出ればハガキで応募します。なかなか当選しま
せんが、3年ほど前に現金5,000円が当たりました。それもまた大変
嬉しいものです。ハガキ代を考えるとマイナスですが「脳トレ」にも
なるし、また当選するかもしれないという楽しみもあります。皆様是非
自分なりの「脳」を鍛える方法を考えて楽しい日々を送ってください。

編集後記

小林:今回はサブメイン記事を担当することにより、インタビューや写真撮影等を経験しましたが、
非常に難しく、どの作業にも奥深さを感じました。イメージのみで動くのではなく、きちんと知識
や調べをして臨むことが大切だと思いました。

赤倉:デザイン担当です。用意された文章、写真などを使い、どうしても見やすく、デザイン性が
高いものを作るのか…日々考えながら挑戦しております。

営業K:カタイ話ですが、5月連休の最中に旧友と我々の憲法について論議。結論として、旧憲法と当時
の日本の成長と時代背景を、もっと広く世に知らしめるべきだと熱く語り同調しました。チョンマ
ゲから50年もかからずに入国力を入る歴史を、我々は教科書に20ページ
も満たない内容で伝えられている。久しぶりの友人も同じことを考えていたことに感動です。